

令和元年東日本台風等の被災地における地価の状況

- 令和元年10月の令和元年東日本台風（台風19号）等により浸水等の被害が生じた地域において、需要の減退等により地価が比較的大きく下落している地点が見られた。

都道府県	市町村	地点	変動率(%)		R2 価格(円/㎡)
			H31	R2	
長野県	長野市	長野-25 (住宅地)	▲1.7	▲13.0	14,700
		長野-38 (住宅地)	▲0.3	▲13.6	32,900
福島県	郡山市	郡山-9 (住宅地)	+1.8	▲3.6	37,600
		郡山-24 (住宅地)	0.0	▲5.9	30,300
		郡山-26 (住宅地)	▲0.3	▲9.6	30,300
		郡山 9-1 (工業地)	+1.4	▲3.6	13,500
	いわき市	いわき-13 (住宅地)	+2.0	▲3.4	73,300
		いわき-18 (住宅地)	+1.8	▲4.6	37,700
		いわき-19 (住宅地)	+1.7	▲6.7	55,300
		いわき-22 (住宅地)	+1.9	▲4.2	50,100
		いわき-25 (住宅地)	0.0	▲4.0	53,300
		いわき-38 (住宅地)	0.0	▲7.2	20,600
		いわき-69 (住宅地)	+0.7	▲5.6	38,900
		いわき 5-15 (商業地)	+1.9	▲4.6	47,200
	二本松市	二本松-6 (住宅地)	▲0.5	▲7.0	6,070
	すかがわし 須賀川市	須賀川-6 (住宅地)	+2.8	▲5.1	35,100
須賀川-8 (住宅地)		+2.8	▲2.4	36,400	
もとみやし 本宮市	本宮 5-1 (商業地)	0.0	▲4.1	35,500	
宮城県	まるもりまち 丸森町	丸森-1 (住宅地)	▲0.6	▲5.1	15,000
		丸森 5-1 (商業地)	▲1.2	▲5.7	15,000
栃木県	栃木市	栃木 5-8 (商業地)	▲0.9	▲5.9	32,000
東京都	あきる野市	あきる野-20 (住宅地)	▲0.2	▲5.2	53,200

※ 令和2年地価公示における変動率が前回と比べ4ポイント以上下落している地点を掲載

【参考】

- 平成30年7月豪雨の被災地において、復旧・復興に向けた取組が進む中、住宅地の需要が回復しつつあり、地価が上昇している地点も見られた。

都道府県	市町村	地点	変動率(%)		R2 価格(円/㎡)
			H31	R2	
岡山県	倉敷市(真備町)	倉敷-50 (住宅地)	▲17.4	+2.1	34,300
		倉敷-51 (住宅地)	▲17.4	+1.9	27,500
		倉敷-59 (住宅地)	▲17.7	+2.0	25,200
	そうじゃ 総社市(下原)	総社-12 (住宅地)	▲13.6	+2.0	15,500